





【学校生活】

「①がっこうせいかつはたのしい」「③きまりをきちんとまもってせいかつしている」の設問では、今年度も90%以上の児童が肯定的に回答しており、落ち着いた環境の中で楽しく過ごす様子がうかがえます。「②すすんで『おはよう』『こんにちは』などの挨拶ができる」に関しても、多くの児童が肯定的な回答をしています。今後も継続的に挨拶の大切さについて啓発してまいります。

また、「⑩おもいやりについてかんがえることができています」の結果からは、周囲を大切にする優しい心が豊かに育っていることが分かります。一方で「⑨こまったとき、なやんだとき、せんせいにそうだんできる」では、「相談しやすい」との回答が70%にとどまりました。学級担任のみならず、他の教職員やカウンセラーとも連携して、児童がいつでも相談しやすい環境を整え、安心して過ごせる学級・学校づくりに努めてまいります。

【環境・安全】

今年度も、地震や火災、停電時などの様々な場面を想定した避難訓練を実施しました。「⑦あんぜんにきをつけてせいかつし、ひなんくんれんにすすんでとりくんでいる」の結果からは、児童の安全意識が高まっていることが分かります。一方で「⑨交通安全や防災等について話し合ったり、避難場所を確認したりしている」では、児童の肯定的な回答が約70%となっています。今後は、学校での学びを定期的に振り返らせることで定着させ、児童が自らの命を守る意識を高められるよう指導していきます。ご家庭でも、避難場所や通学路の安全について、お子様と話し合ってくださいますようお願いいたします。

【学習指導】

「⑤がっこうやいえで、すすんでがくしゅうにとりくんでいる。」の設問では、児童の約90%が肯定的であり、主体的に学ぼうとする意欲の高さが表れています。特に、タブレット端末を活用した「⑩じゅぎょうはわかりやすい。ともだちとおしえあったり、タブレットでしらべたりできる」という項目では、多くの児童がその効果を実感しており、ICTが日常的な学習のツールとして定着しつつある様子がうかがえます。また、「④授業や学校生活の中で、自分の思いや考えを友達や先生にきちんと伝えている」では、肯定的な児童の回答の割合が昨年度より高まる結果となりました。今後は、自分の考えを整理して伝えたり、友達の意見に触れて自分の考えを深めたりする活動を一層充実させ、互いに高め合う「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに努めてまいります。

【行事・特別活動】

「⑬がっこうのそとのかつどうなどは、たのしくべんきょうになった」「⑭ぎょうじやはっぴょうかいは、たのしくかつどうできた」の設問に対し、90%以上の児童が肯定的な回答をしています。修学旅行や野外活動、各学年の校外学習、そして運動会などは、児童にとって教科書だけでは得られない学びや体験であり、これらの活動が互いを認め合う貴重な機会となっています。今後も児童一人一人が自己有用感を得られる活動になるよう、実施方法等の工夫・改善を努めてまいります。

【家庭や地域と学校との連携】

「⑯家庭や地域と連絡を密にし、協力して児童を育てている」の設問では、約90%の保護者が肯定的な回答をしています。引き続き、eメッセージやホームページでの発信を一層工夫することで、学校の様子をより身近に感じられるよう、努めていきます。「⑰メディア教育（ネット利用のルール作り等）」については、学校と家庭が協力して進める必要性を感じる結果となりました。ICTのよさを生かしつつ、健康やマナーを守って使いこなせるよう、学校での指導に努めてまいります。ぜひ、ご家庭においても話し合う機会を定期的に設けていただき、お子様を温かく支えていただくよう、ご協力をお願いいたします。

【記述でのご意見・ご要望等】

さまざまな取組や教育活動に対する励ましや改善のご意見をいただきました。これからの教育活動における貴重な資料として参考にしていきます。

○ 教職員の資質・力量向上について

昨年度に引き続き、教職員の高い倫理観と人権意識、そして個々の児童への丁寧な理解が求められています。一人一人の心に寄り添い、教職員も共に学び続けながら、温かな指導に努めてまいります。子供たち同士の対話を大切にすることで、誰もが安心して自分の気持ちを伝えられる、優しさと笑顔あふれる学校づくりを進めます。

○ 教育活動の充実について

コロナ禍後の通常開催となった学校行事において、その意義と運営のあり方について多くの意見をいただきました。運動会での全校児童による応援や表現活動（ダンス）など、一体感や達成感を味わえる場面については高い評価をいただきました。一方で、保護者の観覧環境について改善を望む声も寄せられています。活動の意義を確認しつつ、いただいたご意見を基に効果的な実施方法を検討します。

昨年度より高学年で実施している「教室下校」を、来年度は回数や対象学年を拡大いたします。これは、下校時間の短縮を図るとともに、夏季の酷暑から児童の健康を守ることが目的です。実施にあたっては、通学路の安全環境を再点検するとともに、学校での交通安全教育をより一層徹底し、「自らの安全を自ら守る」意識の育成に努めます。地域の皆様・保護者の皆様におかれましても、児童の安全な下校に向けた見守りと声かけのご協力をお願い申し上げます。

○ 学習指導およびICT活用について

今年度12月の端末更新に伴い、家庭学習の充実を目指してタブレット端末を毎日持ち帰っています。今後は、児童の身体的負担を軽減するため、教材の精選や荷物の軽減など児童の負担を少しでも減らす工夫を続けてまいります。また、デジタルの利便性を追求する一方で、ノートを活用した記述や話し合い活動なども重視し、バランスのよい指導に努めていきます。

○ PTA活動および地域連携について

家庭との連携を密にするために、学校全体に関わる情報をeメッセージ等を活用してよりお知らせします。特に学級閉鎖などの情報は速やかに伝えていくよう努めます。

PTAへの加入は任意です。加入についてご質問等がございましたら、事務局（教頭）までご連絡ください。本校では、加入についての同意書は用意しておりませんので、お電話等で事務局までご連絡をお願いします。

今後も、令和8年度の教育活動が児童にとってより実りあるものとなるよう、改善に取り組んでまいります。保護者の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

〈問い合わせ〉長久手市立北小学校（Tel 62-9292）主幹 古賀 大介